



千葉県サッカー協会技術委員会 3種育成部会 活動計画

2023年6月

トレセンのビジョン (JFA)

【JFAトレセン創設の目的】

日本サッカーの強化、発展のため、
将来日本代表選手となる優秀な素材を発掘し、
良い環境、良い指導を与えること。

【JFAトレセンの目標】

「個」を高めること

レベルの高い者同士が互いに刺激となる状況
をつくること (天井効果の排除)

トレセンのビジョン (CFA)

【CFAトレセンの目標】

千葉県からプロ・日本代表を輩出するために
タレントを発掘し、必要な刺激を与えること

【CFAトレセンのコンセプト】

目標を達成するために千葉県のトレセンをこ
のような場にしたい

- ①基準を知り、
- ②原則を学び、
- ③チームを越えて高めあう場

千葉県が目指すトレセンの姿

①基準を知る：目指すべき世界で求められるプレーの質を知ることによってギャップを認識する。

⇒トレセンコーチには世界で戦うための基準を提示し、学ばせる能力が求められる。

②原則を学ぶ：選手・個性の土台となる基本を徹底し、どこのチームでも求められるサッカーの原理原則を学ぶ。

⇒トレセンコーチには選手にとって普段と違う環境（トレセン）だからこそ効果的に伝えることのできる基本や原理原則を伝え、学ばせる能力が求められる。

③チームを越えて高めあう：各チーム内で突出している「個」がチームの垣根を越えて競い合うことで更に「個」を高める

⇒トレセンコーチには「個」の挑戦しようとする姿勢を奨励し、選手同士が高めあう雰囲気を作るとともに、スタッフ自身にも高めあう姿勢が求められる。

県トレセントレーニング目標

【U-13】

トレーニングの中で、攻守ともにプレーの目的と原理原則を踏まえたプレーが可能となる

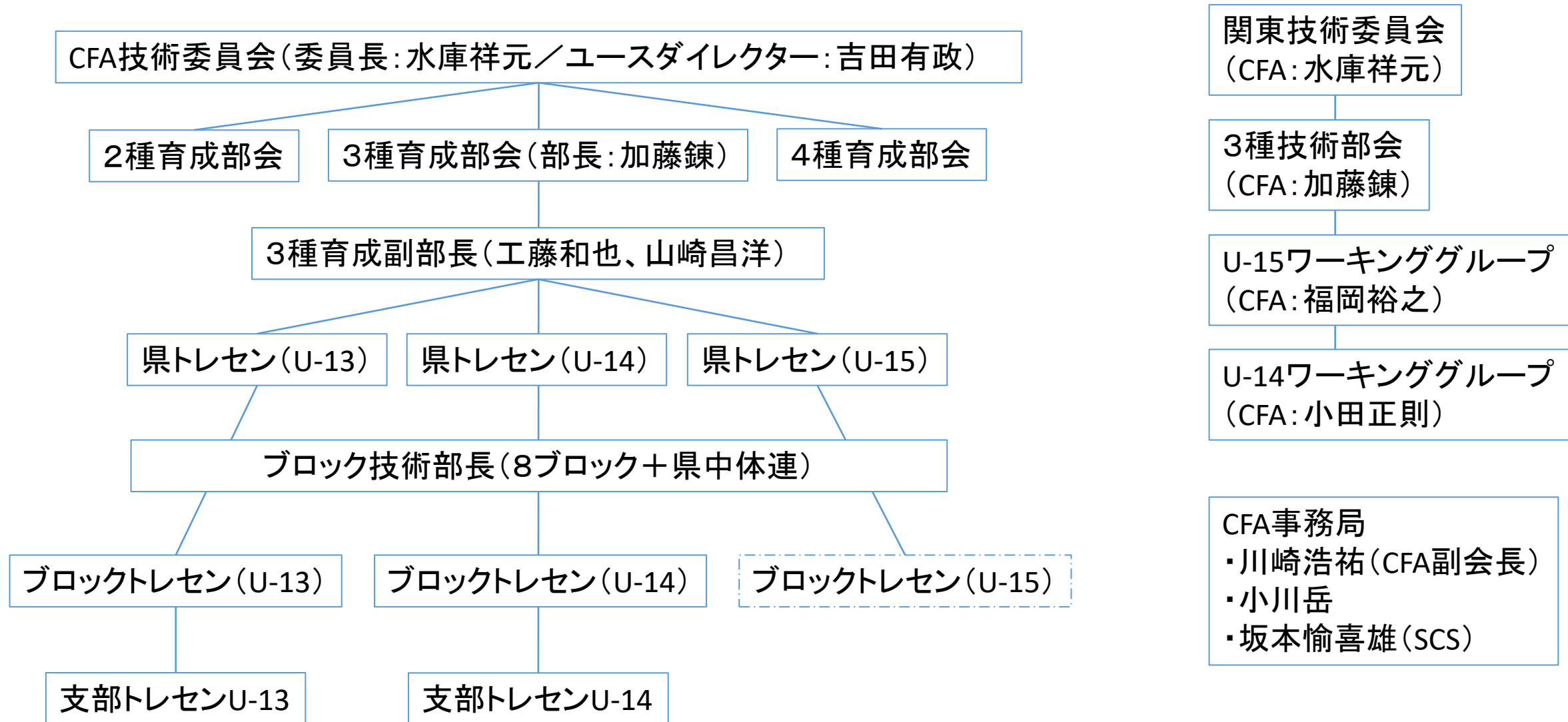
【U-14】

強度の高いゲームの中でもプレーの目的と原理原則を踏まえたプレーが可能となる

【U-15】

プレーの目的と原理原則を踏まえた上で、個の特長や役割・ゲーム状況等に応じて、チームが勝つために必要なプレーを選択できる。

千葉県トレセン組織図



2023年度 JFAトレセン千葉3種 年間活動イメージ図

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
JFA	中体連・タウンクラブキャンプU-15 ナショナルGKキャンプ	NTC前期U-13,14	エリートU-13,14 ストライカーキャンプ	ナショナルGKキャンプ		中体連・タウンクラブキャンプU-14 エリートU-13,14	ナショナルGKキャンプ	NTC後期U-13,14	ストライカーキャンプ			
関東FA	NTC選考会U-13,14					NTC選考会U-13,14					関東GKキャンプU-13,14	関東選抜対抗戦U-13,14
千葉FA		スペシャルトレセンU-14,15	スペシャルトレセンU-14,15	GKトレセンU-13		ストライカートレセンU-13,14 GKトレセンU-13	ストライカートレセンU-13,14 GKトレセンU-13	ストライカートレセンU-13,14 スペシャルトレセンU-13,14 GKトレセンU-13	スペシャルトレセンU-13,14	GKトレセンU-13	GKトレセンU-13	
県U-13 (64名規模)		TR(U-12メンバー)	TR(U-12メンバー)+選考会	選考会		TR×2回	TR×2回	TR×2回	TR×2回	TR×2回	TR×1回 ブロック交流戦	TR
県U-14 (40名規模)	TR×2	TR+関東トレセンリーグ①	TR+関東トレセンリーグ②	TR		TR×2回	TR+Jアカデミー交流戦①	TR+Jアカデミー交流戦②	TR+関東トレセンリーグ③	TR+関東mix交流戦?	TR×1回 ブロック交流戦	TR
県U-15 (30名規模)	TR	TR	TR	TR		【関東トレセンリーグ全4節】 トレセンデー直前、原則火曜日に事前TR			国体チームとして活動			
ブロック・支部U-13		TR	TR	TR		TR	TR	TR	TR	TR	ブロック内交流戦	
ブロックU-14		TR	TR	TR		ブロック合同TR	ブロック合同TR	ブロック合同TR	ブロック合同TR	TR	ブロック交流戦	
ブロックU-15												
県中体連	U-15TR	U-15TR	U-15TR	U-15TR	U-15遠征	U-15TR	U-15TR	U-15TR	U-15遠征	U-14選考会	U-14TR	U-14TR

スペシャルトレセン

■目的・方法

各カテゴリーー優秀選手（毎回5名）がJクラブおよびプリンスリーグ以上に所属する2種チームの環境でトレーニングを実施

■日程

5月 市立船橋高校（U-14, 15対象）

6月 流通経済大学柏高校（U-14, 15対象）

11月 ジェフ千葉（U-13, 14対象）

12月 柏レイソル（U-13, 14対象）

JFA×CFA共同事業「夢ラボ」

■趣旨

夢フィールド設立を契機に、JFAとCFAが連携した「夢フィールドラボ」を計画。JFAの地域貢献、そして活動を通じた研究開発の結果をサッカー界に還元していくことを目的としている。「選手育成」をテーマに、あらゆる角度でサッカー界の課題を検証し、課題解決を行っていくこと、そして他地域でも活用できるサンプルを作ることの実現を目指す。

■対象事業

- ・ 県トレセンU-13 (JFAコーチの参画)
- ・ ストライカートレセン (JFAコーチによるシミュレーション)
- ・ GKトレセン (JFAコーチの参画)

U-13県トレセン選考会の流れ

	4月	5月	6月	7月
県トレセン	平日:活動なし トレセンデー:活動なし	平日:U-12持ち上がりメンバーTR トレセンデー:活動なし (持ち上がりメンバーはブロックで活動)	平日:U-12持ち上がりメンバーTR トレセンデー:ブロック技術部長による選考会(1次選考)	平日:1次選考通過者によるTR トレセンデー:1次選考通過者+県トレセンスタッフ推薦選手でTR/ NTC後期推薦選手選考
ブロックトレセン	実情に応じて実施	県トレセンスタッフが各地区の選考会訪問(基準の共有)	県トレセンスタッフが選考会訪問(5月未実施・未訪問先中心)	
支部トレセン	実情に応じて実施			

- 6月の県トレセン選考会はブロック技術部長を中心に選考し県トレセンの基準を各ブロックに持ち帰っていただきます。
- U-12持ち上がりメンバーで選考会から漏れた選手は、ブロックトレセン所属選手として活動いただきます。

2023年度のポイント

2022年度に引き続き、県トレセン選手選考の際は同一チームからの派遣選手数を考慮します

【理由】

学年を問わず同じチームの選手で固まって行動する傾向があり、一人で参加するNTC関東選考会で力を発揮できなかったり、同チーム選手と関係するときだけ力を発揮する選手が存在する。

トレセンの活動環境を非日常化することで、どのような集団でも積極的にコミュニケーションを取り、リーダーシップを発揮することのできる、たくましい個の育成を目指します（天井効果の排除と自立心の育成）。